

地域密着型サービス 運営推進会議議事録

事業所名：デイサービス春の野

事業の種類：地域密着型通所介護

日時：令和7年9月27日(土) 10:00～11:00

場所：デイサービス 春の野 (出雲市小山町 334 番地 板倉ビル 103 号室)

参加者：

利用者代表：K様	地域代表(コミセンセンター長)：A様
利用者家族代表：K様	出雲市高齢者福祉課：担当者様
春の野(管理者)	春の野(作業療法士)

議題：

1. 利用者状況 令和7年8月の集計

8月の稼働日 20日(1日の平均利用人数 12.6人)

【地域密着型通所介護】

平均介護度 1.74 (前回 1.64)

利用者数 延べ人数 145名 (前回 122名)

実人数 27名 (前回 25名)

【介護予防・日常生活支援総合事業指定事業 第一号通所介護】

利用者数 延べ人数 107名 (前回 99名)

実人数 23名 (前回 22名)

2. 事例紹介

年齢(性別)：80歳代(男性)

疾患名：陳旧性心筋梗塞・狭心症・慢性腎不全・汎発性腹膜炎術後

右膝蓋骨骨折後・左大腿骨頸部骨折術後・無呼吸症候群

脳梗塞(左不全麻痺)・慢性貧血・高血圧症・尿道穿孔・陰嚢皮下膿瘍

介護度：令和6年8月 要支援2 デイサービス利用開始

令和7年5月 要介護3 デイサービス利用再開

現病歴：

令和6年8月19日 デイサービス春の野の利用開始

令和6年12月23日 転倒にて左大腿部頸部骨折し入院

令和6年12月26日 人工骨頭置換術施行

令和7年2月15日 入院中に陰嚢皮下腫瘍,尿道穿孔で膀胱瘻造設術施行

令和7年5月31日 自宅退院

令和7年6月25日 デイサービス利用再開

問題点

- #1 長期入院臥床による、体力低下
- #2 筋力低下
- #3 健康状態悪化によるリスク管理
- #4 基本動作能力低下
 - ①歩行器歩行、膝折れあり介助が必要
- #5 日中独りで過ごしている
 - ①二人の娘と同居するも勤務のため日中は独り

リハビリ目標

- 1) 体力・下肢筋力の維持改善
- 2) 離床と活動の耐容性の改善
- 3) 他者との交流の場を設ける

リハビリプログラム

- 1) 健康チェックで体調管理
- 2) 負荷量の少ないマシントレーニング
- 3) 集団体操とストレッチ
- 4) 他利用者・スタッフとの交流

経過と結果 利用回数：週1回

- 1) バイタル：血圧 平均 125/70 脈拍 65～75/分 体温 36.0 度前後
体重 59 kg 前後
治療状況：腎臓の機能は低下し透析治療を勧められているが本人は希望なし
 - 2) 下肢の浮腫が見られ、足関節の他動運動や空気圧を利用したマッサージ器で下肢の血行回復を図る。
 - 3) 毎回実施。体幹の前屈は制限あり。
 - 4) 難聴はあるがこれまでの人生経験や体験談を話され他者との交流を楽しむ。
- 8/27 午前の利用時に倦怠感強く血圧も低い事から家族に電話で報告を入れる。
同日午後にケアマネジャーが自宅を訪問した際に「今日は足にマッサージ器をかけてもらって良かった」と喜ばれていた。
- 8/28 発熱あり家族が病院受診を行おうとしたが介助困難で救急搬送し入院。その後急変し死去。最終利用日(令和7年8月27日) 血圧 99/58 脈拍 64 体温 36.1

事例を通して今後の検討課題

- ・利用者の体調管理・異変の気付きと観察
- ・家族や医師との情報共有
- ・事故防止

4. 質疑応答

Q：現在ご利用中の利用者さんで介護度が高い方は？

A：介護度4の方が2名。多くは介護1や2の方。

Q：病気の早期発見は難しいものか？

A：春の野以外の介護サービスを利用されていても見逃されていたり、利用中に調子が悪いように思えたときには受診を勧めたり、体重減少が見られるときにはかかりつけ医に報告しその後改善されたケースもある。春の野は少人数であるがゆえに目が行き届くということもある。

Q：職員数は？

A：介護支援専門員と兼務している理学療法士が1名、その他に理学療法士が1名、作業療法士が1名、介護職員が1名で対応している。

Q：介護度も病状も重度な方を見られていくのは大変ではないか？

A：高齢の方は多くの病気を持っている事が多い。単に運動器の疾患だけではなく、難病・癌・糖尿病・心臓病・腎臓病・栄養状態の悪化など様々。

ご家族より：家族では何らかの症状が出てもフォローする事が難しい。通所でフォローしてもらえて助かっている。

Q：施設に入居している方も利用できるのか？

A：特養や老健の施設以外のサ高住や有料老人ホームに入居されている方は今も利用されている。

この後春の野は災害時の避難場所として近くのコミセンを設定している事もあり、災害時の対応での問題点について市の担当者や避難場所となっているコミセンの方から現状や問題点について話題提供があった。